



気仙沼市観光キャラクター
「海の子 ホヤぼーや」

気仙沼市 社協だより

編集
発行

社会福祉法人 気仙沼市社会福祉協議会

《公式ホームページ》 <http://kesenuma-shakyo.jp/>

《スマートフォン用QRコード》

スマホをお持ちの方は、こちらからホームページを見ることができます。



本所 ◆ 気仙沼市東新城二丁目1番地2
TEL 0226-22-0709 / FAX 0226-22-4467
E-mail : keshakyo@watch.ocn.ne.jp

唐桑支所 ◆ 気仙沼市唐桑町石浜282番地3(唐桑保健福祉センター「燦さん館」内)
TEL 0226-31-2051 / FAX 0226-31-2052
E-mail : karakuwa-shakyo@ceres.ocn.ne.jp

本吉支所 ◆ 気仙沼市本吉町津谷館岡51番地6
TEL 0226-42-2231 / FAX 0226-42-1241
E-mail : moto-sha@kind.ocn.ne.jp



地域の交流会にいかします!!

レクリエーション講座を開催しました!

令和2年1月28日、市民福祉センター「やすらぎ」においてレクリエーション講座を開催しました。これは、本会がシリーズで開催しているボランティア講座の第5回目で、35名の皆さんにご参加いただき、レクリエーションを通じたチーム分けの方法や脳トレなどを楽しみながら学びました。

参加者からは、「さっそく交流サロンで今回学んだことを実施したいと思います」などの声をいただきました。



令和元年度 歳末たすけあい募金実績報告

今年度も市民の皆様からたくさんの
善意をお寄せいただきました。
ご協力ありがとうございました。

歳末たすけあい募金総額
4,688,279円



※令和元年度の使いみち（配分内容）

（歳末たすけあい募金のほか、気仙沼市からの補助金2,900,000円と繰越金により配分しました）

使いみち（配分内容）	配分額	説明
在宅長期寝たきり等要介護世帯	3,509,000円	○個別配分
長期入院者（市内の病院に1年以上）	1,648,000円	
地区社会福祉協議会活動	1,280,000円	○福祉団体等及び福祉活動への配分 子どもから高齢者までの幅広い分野に対して、地域での交流を深める事業や、地域の課題解決に向けた活動に取り組みされるよう配分しました。
障害者福祉施設及び事業所等交流活動	570,000円	
新入学児童への安心・安全の支援事業	380,000円	
障害・母子等福祉団体、家族会等事業	140,000円	
子育て支援事業	90,000円	
歳末たすけあい推進費（消耗品等経費）	86,000円	
予備費（上記対象者追加把握による対応として）	130,000円	
合計	7,833,000円	

地域の課題解決 「みやぎチャレンジプロジェクト」助成事業

宮城県共同募金会では、従来の10月1日から12月31日までの共同募金運動期間を3月末日まで3ヶ月間拡大し、その期間内で、地域の課題解決に取り組む活動費をエントリーした団体が主体となって、個人や企業に自らの活動を伝えながら募金を行う「みやぎチャレンジプロジェクト」を進めています。

気仙沼市の2団体と市内で活動する1団体がエントリー

「ドリームキャンプ実行委員会」 「一般社団法人かもみ〜る」 「プレーパークけせんぬま(プレーワーカーズ)」

「ドリームキャンプ実行委員会」では、震災から8年継続してきた子どもたち対象のサマーキャンプ開催経費として、「一般社団法人かもみ〜る」では、障がい者を含むすべての地域住民が生き生き暮らせる元気なまちにする活動資金として、それぞれ活用する予定です。

また、「一般社団法人プレーワーカーズ」では、新月地区内の一軒家を改装した子育て支援施設aso-bon（あそぼん）の庭を遊び場『プレーパークけせんぬま』として整備していますが、遊び場の運営経費として活用する予定です。



詳しく知りたい方、寄付により活動を応援したい方は、それぞれの窓口まで直接ご連絡をお願いします。



一般社団法人かもみ〜る

「まちを元気にしたい」
かもみ〜るの活動に
応援を！

〒988-0077
気仙沼市古町3-3-7
Tel.0226-28-9968



ドリームキャンプ実行委員会

未来を担う子ども育成「ド
リームキャンプ気仙沼大島」
を開催したい！

〒988-0017
気仙沼市南町1-2-15
Tel.090-7426-3413
URL <https://www.dreamcamps.info/>



Playworkers

一般社団法人 プレーワーカーズ

子どもが遊ぶ育つ社会を
目指して、一軒家の庭から
発信したい！

〒981-1241
宮城県名取市高館熊野堂字飛鳥中3
Tel.022-397-7507
URL <http://playworkers.org/>



あたたかな善意ありがとうございます

交通遺児等お年玉募金委員会より、市民の皆様からお寄せいただいた善意815,417円の寄付をいただきました。これは街頭募金でいただいた善意に気仙沼市安全運転管理者会、市民や市内の事業所からの寄付などを合わせたものです。

いただいた善意は、市内の交通遺児へお年玉として贈られるほか、当会で行う遺児の支援事業として大切に活用させていただきます。

交通遺児等お年玉募金委員会では、今後、3年以内に交通遺児がいなくなる見込みとなったため、今年度でその活動が終了となります。長年にわたりありがとうございました。



みみサポサロンコラボ企画

『市社協手話奉仕員等フォローアップ』を開催しました

1月31日（金）に今年度最後のみみサポサロンが開催されました。

今回は、みみサポサロンと市社協手話奉仕員等フォローアップのコラボ企画として【健康増進！『冬野菜で免疫アップ！』】と題し、健康講話と調理実習を行いました。

まず、市健康増進課の栄養士から「糖尿病の危険性」についての講話がありました。その後、手話奉仕員や手話サークル会員の方々が聴覚障害を持つ方をサポートしながら、冬野菜をふんだんに使った免疫アップ料理を賑やかに調理&試食を行いました。



❖ ❖ ❖ 生活福祉資金貸付制度のご案内 ❖ ❖ ❖

当会では、低所得世帯、障がい者世帯及び高齢者世帯に対し、様々な利用目的に応じた資金の貸付相談を行っています。

申込みにあたって、一定の要件がありますが、大学や専門学校、高等学校等への入学や就学に必要な経費の貸付等も取り扱っておりますので、詳細についてはお気軽に本会までご相談ください。

お問合せ：気仙沼市社会福祉協議会（市内東新城2-1-2） 電話 22-0709



はじめよう！ 広げよう！ 支えあいの地域づくり 「地域のお宝」紹介しま～す



本会では、生活支援体制整備事業を気仙沼市より受託し、地域支え合い推進員を配置して、みんなでつくる支えあいの地域づくり、そして地域が元気になる取組みを推進しています。

推進員が各地域に伺う中で、住民同志の支えあいをたくさん見つけました。

これこそ「**地域のお宝**」。みなさんの身近にも、お宝はいっぱいあるはずです。

今回も地域支え合い推進員が見つけた「**地域のお宝**」を紹介しま～す。



「地域のお宝」とは

特別に意識せずに行われていることが、見守りや情報交換、つながりづくりの場になっています。

これをこの事業では「**地域のお宝**」と呼んでいます。

上地区 舘山1区自治会 令和元年「新しい活動始めました」

舘山1区自治会では、住民の方々のやってみたい、自分たちで何ができるだろうという話合いから住民有志が新しい活動を2つ始めました。



一つは「コーラス」で、先生は地区の民生委員さんです。季節の歌や懐かしいメロディを輪唱します。

もう一つは健康麻雀です。ルールはみんなで教え合います。健康麻雀に参加している方からは、「仲間に麻雀を教えることで、自分も勉強になります。自分のため、人のため、仲間のために。人と交わるといいことがあります。」と話されていたのが印象的でした。



日ごろの何気ない会話から話し合いになり、より良い生活のための活動につながるのですね。

☆ここがイチ押し！



「コーラス」は声を出して腹筋を鍛えます。輪唱は聴力を鍛え、協調性を育みます。

「健康麻雀」は脳トレに繋がります。専門用語を使うと不思議と麻雀が上手くなるそうです。好きなこと、得意なこと仲間と継続することが健康寿命を延ばす秘訣なんです！

全国の介護サービス事業所の情報を見ることができます。

介護サービス情報公表システム <http://www.kaigokensaku.jp/>



鹿折地区 東中才3区 サロン「にこにこお茶っこ会」

東中才3区ではサロン「にこにこお茶っこ会」が、平成30年から月2～3回のペースで鹿折住宅集会所を拠点に行われています。いつも10名位の方々が参加しています。

介護予防体操「海潮音体操」、数字の組み合わせパズルによる脳トレ、唱歌、クラフト手芸など、楽しく活動しています。参加する住民の方からは、次回が待ち遠しいとの声が聞かれます。



今年度は、気仙沼大島大橋が開通したこともあり、移動研修を行い、大島公民館館長から講話をいただき、大島について勉強もしました。

☆ここがイチ押し！
にこにこお茶っこ会のメンバーで令和2年から週1回、介護予防体操「海潮音体操」始めました。寒い冬も、みんなで乗り越えます。



新月地区 月立地区 縁側でほっこり お茶のみ「今日は移動販売が来る日♪」



金曜日の午後、月立地区に移動販売車がやってきます。月立地区は駐車場所が2カ所あります。そこは、利用する方のお宅でご近所の方々数人がお茶のみをしながら待っています。

車が来ると「何を買おうか。前回頼んだあれはどう？」「カレーのルー私は混合。あんだは？」「家族が買い物をしてけると、自分の目で見て買いたいもんね。ちょこっとした物が必要なわけよ」と賑やかに買い物をします。

買い物の後もお茶のみをして、よもやま話をしながら健康のこと、サロンの日程や内容などを話していました。



☆ここがイチ押し！

過疎化や高齢化がクローズアップされている中、心を許せる友がいつも側にいます。大きな声で笑い、相談しながら生活を送ること。これはより良い社会生活を生み出す原点ではないでしょうか。また、移動販売車がくることで買い物はもちろんのこと、住民が顔を合わせる機会も増え住民同士の定期的な見守りや防犯など地域でのコミュニティづくりにもつながっています。



階上地区「波路上(はじかみ)ラジオ体操有志の会」

波路上ラジオ体操有志の会の皆さんは、波路上自治会館を会場に毎朝ラジオ体操を行っています。時間は朝6時半からのラジオ体操の放送に合わせて10分間。多いときは12～13人ほど集まり、気持ちよく汗を流しています。中には、散歩の後に参加している方もおり、朝、規則正しく起きて顔を合わせ、朝一に笑うことが健康の秘訣とのこと。冬季や雨天の場合は活動をお休みし、無理のない範囲で続けているそうです。



また、参加者の皆さんは、開催〇回目記念や忘年会などで時々ランチに誘い合って交流を深めています。

参加は、波路上以外の地区からも大歓迎とのこと、無理なく楽しみながら活動が続けていきたいとのことでした。



☆ここがイチ押し！

健康づくりとともに、地域の情報交換の場となっています。

面瀬地区 面瀬地区社協「昔の遊び」

面瀬地区社会福祉協議会では、毎年1月に地域の子供たちを対象に「昔の遊び」を開催しています。今年は1月11日に面瀬公民館を会場に行われました。

子供たちは、地域の方々から羽根つきや竹馬、お手玉やおはじきなどの遊び方を教わりながら、大人も子どもも一緒になって楽しみました。

また、小正月に飾る繭玉づくりやお餅つきなど、普段はできないような体験にチャレンジし、最後はみんなで協力してついたお餅をおなかいっぱい味わいました。



☆ここがイチ押し！

世代間交流となっているとともに、伝統の継承にもなっています。





大島地区 島真会(とうしんかい)「クリスマス会」



島真会では毎年クリスマスに、トラックにトナカイとソリを乗せたサンタクロースが、依頼を受けた家庭にプレゼントを届けていま

したが、昨年は子供の減少により、開発センターでクリスマス会を開催しました。わたあめや温かい玉こんにゃく、餅まきやお菓子まきもあり、子供たちは元気に走り回って楽しんでいました。



☆ここがイチ押し！

20代から60代までの幅広い年齢層のメンバーが、互いに支え合い、持ちつ持たれつ
の関係で活動しています。

唐桑地区「中地区ふれあいレクリエーションの集い」



中地区では毎年1回、中開発協議会(自治

会)主催で、地区住民が集い、スポーツやゲーム、芋煮などでふれあいと親睦を深め合うことを目的に「中地区ふれあいレクリエーションの集い」を開催しています。

今回も子どもから高齢の方まで幅広い年代層が参加し、グラウンドゴルフフリーやパン食い競争、玉入れなどの競技を行い、楽しみながら体を動かしました。

参加された方々からは、「今回で23回目となるが、今後も継続してほしい。」「豪華景品をもらえるのがうれしい。」といった声が聞かれました。



☆ここがイチ押し！

幅広い年代層が参加することにより、世代間交流にもつながっています。体を動かした後、屋外で食べる芋煮の味は格別です。





「ヘルプカード」をご存じですか？

ヘルプカードは、障がいのある方や高齢者、持病のある方や妊婦さんなど様々な方が携帯することで、困った時や緊急時に必要な手助け、配慮などを周囲の人に伝えるためのカードです。



Q. 誰でも持てるの？

A. 日常生活や災害発生時において、援助や配慮をしてほしい方はどなたでも持つことができます。

Q. どこでもらえるの？

- A. ・気仙沼市役所
 社会福祉課、高齢介護課、子ども家庭課、中央地域包括支援センター(ワンテン庁舎内)
 唐桑総合支所 保健福祉課 (唐桑保健福祉センター燦さん館内)
 本吉総合支所 保健福祉課、本吉保健福祉センターいこい
 子育て包括支援センターすこやか (市民健康管理センターすこやか内)
 階上出張所、気仙沼市立病院、市立本吉病院
- ・各地域包括支援センター (松岩・新月、階上・面瀬、鹿折・唐桑、本吉)
 - ・気仙沼市障害者生活支援センター (市民福祉センターやすらぎ内)
 - ・気仙沼市社会福祉協議会 (本所、唐桑支所、本吉支所)

ヘルプカードを持っている方の中には

- ◆困っていても助けを求めることが出来なかったり、どうしたらいいかわからなくなっている場合があります。
- ◆突然発作が起きたり、動けなくなったりなど、見た目には分からない持病や障害がある方もいます。
- ◆大人だけではなく、お子さんが持っていることもあります。

まずは、本人の目の前に立ち「どうしましたか?」「大丈夫ですか?」など、ゆっくりおだやかに話し掛けてください。中には、強い口調やたくさんの人から声を掛けられると、緊張したり、パニックになったりと逆効果になることがあります。

コミュニケーションが上手に取れない場合は、カードに書いてある緊急連絡先に連絡してください。

※もしも、声を掛けた方がヘルプカードを持っていなかったら…
 ⇨助けてほしいことを聞き取りながら、手助けをしてください。



誰もが安心して暮らしていける地域を目指し、皆様のご協力をお願いします。

